

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

納税者主権の政治・リニア新幹線



町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2171

2期連続トップ当選

## 震災現場経験が大幅減少

第 2 定例会の一般質問で取り下げたテーマですが、町田市の被災地応援経験の情報収集と継承の断絶と言う観点を述べました。東日本大震災以降、町田市の被災地応援が、基本的に東京都市長会からの支援要請で実施していることが明らかになりました。

町田市が自律的に応援の必要性を認識して実施するものではなく、東京都の支援体制の一コマとして現地に赴いているもので、そもそも震災被害の全容を知りうる立場にはないものです。すなわち、震災被害の一部門の救援にかかわっているに過ぎず、その被害がどのような広がりがあるのか、あるいはどのような関連があるのかも自身の判断でなされず、全ては東京都の計画や応援体制の一片を占めるに過ぎない状態で、これでは町田市で大きな震災被害にあっても東京都がすべてを采配して、被災の復旧を図ってもらうしかない状況になるでしょう。

昔を振り返って、阪神大震災に際しては、町田市は自律的な判断があり、多岐にわたる行政分野の職員を現地に派遣しています。ただし、その当時の総括文書が見当たらず、どのような課題を町田市が感じたか、あるいは行政としてどのような把握をしたかが今では不明となっています。行政機関としては、被災地応援の情報をきちんと把握し、その経過を正しく記録し、その情報を継承する必要がありますが、その基本が町田市には整っていないということがあります。

中越地震に関しては、町田市は「災害支援派遣報告」（発行：町田市総務部防災課）を残

しています。その内容では、派遣項目の記載だけでなく、派遣職員による被災の内容のとりえ方、あるいは被災復旧の課題などを詳細に記載しており、他の機関、あるいは議会、あるいは市民に応える内容にまとまっています。もっとも、それがその後町田市の被災地応援に際して、有効に機能しているとは思えず、むしろ、町田市が基礎自治体としての自主的な危機管理体制、災害復旧の体制を大幅に後退している現状はいなめず、すみやかな改善を求めました。



熊本県益城町を訪れ、現地で撮影

## 沖縄県民の置かれた位置について

市議会が国などに出す意見書で、今期の議会でも、「元海兵隊員による女性死体遺棄事件に関する意見」がありました。内容は、米軍の謝罪や補償の完全実施や日米地位協定の改正を求めるものでした。私はその意見書に賛成しましたが、結果は否決となりました。日本を取り巻く政治・平和環境が厳しくなっており、沖縄の犠牲は「やむなし」の思考が背景にあるのでしょうか。私は、その負担と人権的なデメリットを沖縄だけに負ってもらうという発想では、日本全体の意思統一に亀裂を生じると思っています。負担の均等性、相互性を真剣に考える時代だと思っています。

★無所属で活動・市議会は保守連合 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ（市議会議員）

町田市議会議員・良識ある保守主義を目指す

# 吉田つとむ

セミナー主催・インターンシップ主宰



楽しい社会体験プログラム



携帯QRコード  
でブログ閲覧

## 研修レポート⑥藤澤美彩子

町田市子ども生活部保育・幼稚園課を訪問させていただきました。現在、町田市で乳幼児とその保護者にためにどのような施策または支援が行われているかという事を知り、大変有意義な時間となりました。今問題となっている「孤育て」。字の通り、孤立した中で子どもを育てることを指しています。町田市では孤育て解消の一環の中で「安心して、楽しく子育てができるまち」を目指してマイ保育園事業を推進しているそうです。マイ保育園事業に登録することによって子育てに関する情報の配信や育児相談、育児講座、イベントの参加など様々なサービスを受けることが可能になります。



恵泉女学園大学 3 年生 藤澤美彩子 (第 38 期)

また、よく耳にする待機児童問題。町田市の待機児童は住む場所によっても異なるようでしたが、1 歳から入園することが難しいために 0 歳から入園するパターンが増えてきているということがわかりました。保育士不足を目の当たりにした気がします。時代の移り変わりとともに政策や支援方法は大きく変わると思いますが、町田市は今子育て中の親子に歩み寄ってくれているのではないかとさまざまな施設を訪問してみて感じました。子どもの



時に町田に住み就職などを機に一度は町田を離れる方が多いが再び結婚や出産を機に町田に戻ってくる方が多いという実態を聞いて、さまざまな面において、町田市はとても住みやすい街になってきているのではないかと思います。

**恵泉女学園大学 3 年生 藤澤美彩子 (第 38 期)**

.....以下、吉田記載.....

今回は市役所の職員の方を訪ねて、保育のを中心に向いました。保育園や幼稚園とはまた別のものである、町田市の取り組み（マイ保育園事業）を聞きました。また、待機児童問題も行政側はどう見ているか、それに答えていただきました。TVで話題にされる時は、「待機児童数」だけに目が行きますが、背景を探ってみると他にも問題があることがわかりますもあります。それを議員が見聞きすると、また、違った課題を見つめることになります。



金森保育園も訪ねました

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp (モバイルのみ接続)